

令和 4 年度 (令和 3 年分) 給与支払報告書(総括表)

1月31日までに提出してください。

追加 訂正		令和 年 月 日 提出		特別徴収義務者指定番号	
		(宛先) 埼玉県鴻巣市長			
1 給与の 支払期間	年 月分	から 月分まで	10 提出区分	年間分	退職者分
2 個人番号 又は法人番号				11 給与支払の 方法及び期日	
3 郵便番号	〒			12 事業種目その 他必要な事項	
(フリガナ)				13 提出先 市区町村数	
4 所在地 (住所)				14 受給者総人員	人
(フリガナ)				15 報告人員	
5 名称 (氏名)			特別徴収 (給与天引)		人
6 代表者の 職氏名			普通徴収切 替理由書の 合計人数		人
7 経理責任 者氏名				合計	人
8 連絡者の 係及び氏 名並びに 電話番号	係 氏名		17 払込を希望 する金融機 関の名称及 び所在地	16 所轄税務署	税務署
	() - 番内線 ()		(名称)		
			(所在地)		
9 会計事務所 等の名称及 び電話番号	() - 番			納入書	要・不要
*普通徴収とする場合は、普通徴収切替理由書の提出が必要です。					

- 追加報告のときは「追加」、訂正の場合は「訂正」とそれぞれ○で囲んでください。
- 「1給与の支払期間」欄には、「15報告人員」に給与を支払った期間を記載してください。
- 「2個人番号又は法人番号」欄には、給与支払者の個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。以下同じ。）又は法人番号（同条第15項に規定する法人番号をいう。）を記載してください。なお、個人番号を記載する場合は、左側を1文字空けて記載してください。
- 「8連絡者の係及び氏名並びに電話番号」欄には、報告書について応答する者の氏名、所属課、係名及びその電話番号を記載してください。
- 「10提出区分」欄は、退職者についてのみ給与支払報告書を提出する場合には、「退職者分」を、その他の場合は「年間分」を○で囲んでください。
- 「11給与支払の方法及び期日」欄には、月給、週給等及び毎月20日、毎週月曜日等と記載してください。
- 「14受給者総人員」欄には、1月1日現在において給与の支払をする事務所、事業所等から給与等の支払を受けている者の総人員を記載してください。
- 「15報告人員」欄には、提出先の市区町村に対して「給与支払報告書（個人別明細書）」を提出する人員（退職者人員を含む。）を延べ人数で記載してください。なお、普通徴収とする場合は、普通徴収切替理由書の提出が必要です。

普通徴収切替理由書 兼 仕切書

年 月 日 提出	
市 町 村 名	指 定 番 号
特 別 徴 収 者 名	

符号	普通徴収該当理由	人数
普A	総従業員数が2人以下の事業者 (総従業員数=「従業員総人数」-「下部B～F該当人数」)	人
普B	他の事業所で特別徴収が行われている者(乙欄適用者)	人
普C	給与が少なく税額が引けない者(年間の給与支給総額が93万円以下)	人
普D	給与の支払が不定期である者	人
普E	事業専従者(給与支払者が個人事業主の場合のみ対象)	人
普F	退職者(休職者を含む)及び退職予定者(5月末日まで)	人
普通徴収対象者合計人数(総括表の「普通徴収切替理由書の合計人数」欄の人数と一致します)		人

普通徴収切替理由書兼仕切書の記載にあたっての留意事項

- この「切替理由書」は、当面、普通徴収を認める基準を示すものです。
- 上記理由（普A～普F）に該当する場合は、特別徴収義務者からの申請に基づき、当分の間、例外として普通徴収とすることができます。
- 普通徴収に該当する者がいる場合は、給与支払報告書と一緒にこの切替理由書を提出してください。(切替理由書の提出がない場合は「特別徴収」となります。
また、普通徴収に該当する者の「給与支払報告書(個人別明細書)」の摘要欄に、必ず上記符号(普A～普F)を記入してください。

